

新たな日常での文化芸術活動支援事業（公演等開催支援）
応募書類記載要領

応募書類については、下記項目について全て確認の上、作成をお願いします。

助成事業の選定は、審査基準に基づき、原則、応募書類をもとに行います。
 応募書類については、
 誰が見ても事業内容がひと目で分かるように。
 何を狙っているのか、どの部分がポイントなのか。
 事業の実現性など審査の基準においてアピールできる点は明確に記載し、
 事業の魅力が存分に伝わる応募書類の作成をお願いします。
 ※なお、できる限りワープロ打ちで作成をお願いします。
 （手書きの場合は、楷書で丁寧に記入してください。）

《審査基準》

1 事業の目的

・事業の目的が明確で、鹿児島が持つ多様な文化芸術を更に発展・充実させることが期待できるものであるか。

2 事業の内容

・文化芸術活動の継続や人材育成に資するものとなっているか。

3 事業の実現性

・事業内容や実施体制は、具体的で実現可能な事業であるか。

4 収支計画の妥当性

・収支計画は、事業内容に見合っており、助成金が有効に活用されるものとなっているか。

5 公益性

・受益者が特定の者に限定されず、広く県民が鑑賞、参加等のできるものであるか。

6 新型コロナウイルス感染症対策

・国や業種別のガイドラインに沿った適切な感染防止対策が講じられているか。
 （主催者側・来場者側）

I 応募書（第1号様式）

日付 応募者	<input type="checkbox"/> 提出する日付を記入してください。（令和4年〇月〇日） <input type="checkbox"/> 応募者の住所・団体名・代表者の役職・氏名を正しく記入してください。
応募事業	<input type="checkbox"/> 応募する事業どちらかに「〇」を記入してください。
担当者の連絡先	<input type="checkbox"/> 必ず連絡がとれる連絡先を記入してください。

II 事業計画書（第1号様式別紙1①）

申込団体	<input type="checkbox"/> 応募書（第1号様式）に記入した応募団体と同じ団体名を記入して下さい。
ジャンル	<input type="checkbox"/> 音楽、オペラ、舞踊、演劇、美術、伝統文化、絵画、文芸等、応募事業に該当するジャンルを記入して下さい。
活動名 （活動のコンセプト）	<input type="checkbox"/> 分かりやすく簡潔に記入してください。 <input type="checkbox"/> ふりがなも忘れずに記入してください。
趣旨・目的	<input type="checkbox"/> 目的の明確性も審査のポイントになります。本助成事業の趣旨、対象となる事業（募集要項1，2参照）に留意しながら、提案された事業の趣旨・目的を分かりやすく記入してください。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>《審査基準①》 事業の目的が明確で、鹿児島が持つ多様な文化芸術のを更に発展・充実させることが期待できるものであるか。</p> </div>

実施時期	<input type="checkbox"/> 令和4年度中の実施時期を記入してください。
実施場所 ・施設名	<input type="checkbox"/> 公演会場や活動場所について記入してください。 <input type="checkbox"/> 会場名等の後ろに、市町村名等を括弧書きで記入してください。
実施回数 ・日数	<input type="checkbox"/> 事業の実施回数（公演回数等）を記入してください。
内容	<input type="checkbox"/> ①事業の内容がひと目で分かるように記入してください。 <input type="checkbox"/> ②実施内容をより具体的に記入してください。 <input type="checkbox"/> ③特にアピールしたいポイント等を明確に記入してください。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> ★事業の魅力が存分に伝わるよう、書き方の工夫をお願いします。 </div>
活動名のうち、持続的な活動を目指す取組や人材育成を目的とした取組の内容	<input type="checkbox"/> 「〇〇の取組により、運営人員が増えた。」「このような広報活動をしたことで、今までより広い範囲にアピールできて、前回より参加者が〇〇人増加した。」「事業に賛同してくれるスポンサーを増やし、資金調達を凶った。」等、団体が今後も継続して事業活動できるような、持続的な活動に向けた取組について記入してください。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 《審査基準②》 文化芸術活動の継続や人材育成に資するものとなっているか。 </div>
主催者側参加者数	<input type="checkbox"/> 主催者側（スタッフ等）の人数を記入してください。
一般参加予定者数	<input type="checkbox"/> 参加者、観覧者数（見込みで可）等を記入してください。 <input type="checkbox"/> 公益性（広く県民が参加できるか）も審査のポイントになります。（より多くの参加者となるよう、事業内容の工夫をお願いします。） <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 《審査基準⑤》 受益者が特定の者に限定されず、広く県民が鑑賞等のできるものであるか。 </div>
事業の実施の推進体制・スケジュール等	<input type="checkbox"/> 事業の実現性も審査のポイントになります。 より具体的に記入してください。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 《審査基準③》 事業内容や実施体制は、具体的で実現可能な事業であるか。 </div>
新型コロナウイルス感染症対策	<input type="checkbox"/> 新型コロナウイルス感染症の防止対策について、具体的に記入してください。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 《審査基準⑥》 国や業種別のガイドラインに沿った適切な感染防止対策が講じられているか。（主催者側・来場者側） </div>
期待される効果	<input type="checkbox"/> 本助成事業の趣旨、対象となる事業（募集要項1, 2参照）に留意しながら、事業の実施により期待される効果について、事業内容と関連づけて、明確に記入してください。（より高い効果が得られるよう、事業内容の工夫をお願いします。） <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 《審査基準①》 事業の目的が明確で、鹿児島が持つ多様な文化芸術のを更に発展・充実させることが期待できるものであるか。 </div>
共催者名、後援者名、協賛者名等とその役割	<input type="checkbox"/> 共催者、後援者、協賛者等について記入してください。 <input type="checkbox"/> 応募時点で予定の場合は、名称の後ろに（予定）と記載してください。

Ⅲ 団体の概要（第1号様式別紙1①裏面）

団体の概要	□団体名、住所（所在地）、代表者（役職・氏名）、電話、ホームページアドレス、設立年月日について、正しく記入してください。
組織	□団体の組織について、役職員、団体構成員、加入条件等を正しく記入してください。
沿革	□組織の沿革、これまでの活動・実績等について時系列順に記入してください。
申請する活動と類似の事例の概要	□これまでに類似の活動を実施している場合は、その活動を記入してください。 □これまでに類似の活動を実施していない場合は、他の団体等で実施された類似の活動事例等をご存じでしたら、記入してください。

Ⅳ 収支予算書（第1号様式別紙2）

収支計画の妥当性も審査のポイントになります。

《審査基準④》

収支計画は、事業内容に見合っており、助成金が有効に活用されるものとなっているか。

団体名	□右上の「団体名」の欄に必ず団体名を記入してください。
内訳（円）	□円単位で記入して下さい。 □「〇〇-〇〇間の交通費（往復）〇円×〇人×〇回＝〇円」のように、内訳が分かるように記入してください。 ※対象外経費が含まれていないか、必ず御確認ください。
予算額（円）	□円単位で記入してください。 □内訳の欄の合計を記入してください。 ※正しく計算されているか、必ず御確認ください。
(収入)小計(イ)	□入場料収入、その他の収入の合計を記入してください。
(収入)交付を受けようとする助成金の額(ハ)	□助成対象経費（=支出の総額-助成対象外経費）の2分の1以内（上限50万円）を記入してください。
総額	□各項目の合計を記入してください。 □収入の総額は、「(イ)小計」+「(ロ)自己負担金」+「(ハ)交付を受けようとする助成金の額」の合計になります。 □収入の総額と支出の総額を一致させてください。 ※正しく計算されているか、必ず御確認ください。

(参考)

助成対象となる経費一覧表

新たな日常での文化芸術活動支援事業（公演等開催支援）

＜助成対象経費＞ ※領収書等により経費を確認できること

	項目	細目	内 訳
助 成 の 対 象 と な る 経 費	報償費	謝金	講師謝礼 ※実績時に金額の根拠になる資料添付のこと
		出演料	講師への出演料(指揮、演奏、ソリスト、合唱、俳優出演等)
		指導料	ワークショップ等の体験・研修での指導料 ※ 報償の対価となる内容(従事内容、回数、時間等)及び積算の根拠を明確にしてください。 ※ 源泉徴収等が必要な場合は、各団体で行ってください。
	旅費	交通費	講師等の旅費 ※航空・列車運賃の特別料金(ファーストクラス料金、グリーン料金)は対象外 イベント当日の駐車場代、レンタカーの料金等 ※ 実費又は申請団体における旅費規程等を原則とします。 ※ 規定等がない場合は、県の旅費規程により算出した額となります。
		宿泊費	講師等の宿泊費 ※12,000円(県の旅費規程)程度以内
	需用費	印刷費	プログラム印刷費、図録制作費、台本・チラシ等・入場券・アンケート用紙等印刷費(出演者・作品等の募集に係る経費を含む)、会議資料(会議日程等添付)
		消耗品費	コピー用紙、文具等
		写真現像費	写真現像代
		材料費	資材等の費用
	役務費	設営費	会場設営費、会場撤去費
		通信運搬費	郵便代、チラシ・ポスター等の送付料
		手数料	入場券販売手数料、振込手数料
		制作費	横断幕、立て看板、図録などの制作費
		運搬設置料	資材等の運搬、設置費
記録費		記録用録画費、録音費、写真撮影料	
宣伝費		新聞、雑誌、ポスター、折り込みチラシ等の宣伝料	
保険料		イベント保険料	
記録費		DVD、写真等の記録費	
調律費	ピアノ等の調律料		
使用料 賃借料	会場使用料	本番・ゲネプロ会場、練習会場等の使用料 ※実績時に練習日程等添付	
	ピアノ借用料	ピアノ等の楽器レンタル料など	
	音響費	音響設備の使用料	
	照明費	照明設備の使用料	
	舞台付帯設備料	椅子、机、ひな壇、冷暖房使用料など	
	著作権使用料	著作権の使用料	
賃金	アルバイト整理員賃	駐車場整理員等 ※実績時に出勤簿等添付	
委託料	委託費	撮影、映像編集、配信等に係る委託費 ※ 事前に見積徴収を行う(原則複数)等、委託内容(業務、回数、時間等)及び積算の根拠を明確にしてください。	
その他			

<助成対象外経費>

- 事務運営管理に関する経費
事務所の光熱水費，電話代，交際費，ホームページ作成及び運営費，事務所維持人件費，助成対象団体の構成員の人件費（ただし，本事業のために臨時で雇用する者（アルバイト）の賃金は除く） など
- 備品類等の購入経費
本事業終了後も繰り返し使用が見込まれるもの（例：衣装代，楽器，・楽譜，美術品，事務機器，什器）の購入経費 など
- 社会通念上，公金で賄うことがふさわしくない経費
飲食費，交際費・接待費，レセプション・打ち上げ等のパーティー経費，印紙代 など
- その他の経費
記念品代，個人への支給品代，出演者への花束代，主催者が管理する会場や道具類の使用料またはそれに類する経費，航空・列車運賃の特別料金（ファーストクラス料金，グリーン料金） など

<注意点>

- 1 これらの経費の取扱いは，委託した場合についても同様です。
- 2 以上に記載されていない経費については，担当課(文化振興課 文化企画係)にお問い合わせください。

事業計画書（公演等開催支援）

申込団体	〇〇〇〇〇実行委員会	ジャンル	オペラ， 絵画， 講演会， 演劇な ど端的に記入
(ふりがな)	みゅーじかる「〇〇」		
① 活動名	ミュージカル「〇〇」	★活動名は分かりやすく簡潔に！	
② 活動の目的	(趣旨・目的) ★目的の明確性も審査のポイントになります。《審査基準①》 〇〇市の小中学生が， 〇〇市に関連するテーマのもと， ミュージカルを自分たちで創作・上演する体験により， 児童・生徒の発表の場の創出と地域文化の振興を図り， 県内の文化芸術活動の更なる活性化と演劇の人材育成を図る。 (毎年実施している〇〇が， コロナ対策のため実施できなくなり， 改めて今回実施予定。)		
	(実施時期) 当初予定日 2022年〇月〇日 変更後の予定日 2022年〇月〇日	(実施場所・施設名) 公演： 〇〇ホール〇会場 (鹿児島市)	(実施回数・日数) 公演： 〇回・ 〇日間
内容及び内容等	(内容) 〇〇市の小中学生が， 〇〇市に関連するテーマのもと， 演劇を自分たちで創作し， 鹿児島市において公演する。 参加者については， 〇〇市において公募し， 〇〇〇〇〇による選考を経て決定する。 →★事業の内容がひと目で分かるように記載。		
	①ミュージカルの創作・公演 〇〇の指導のもと， 〇〇市の児童・生徒が意見を交換しながら自分たちでミュージカルを創作し， 新たなミュージカルの創作を行う。公演については， …………… →★実施内容をより具体的に記載。 〇〇〇〇等の活動を通して， 県内の文化芸術活動の更なる活性化を図る点， また演劇の人材育成を行う点が， 本事業のポイントである。 →★特にアピールしたいポイント等を明確に記載。 ★文化芸術活動の継続や人材育成に資するものであるかも審査のポイントです。《審査基準②》		
	(①活動名のうち， 持続的な活動を目指す取組や人材育成を目的とした取組の内容) ★活動の持続性や人材育成の取組も審査のポイントです！できる限り詳細に記載。《審査基準②》 〇〇等を招へいしたワークショップ等の活動を今回初めて行い， イベント参加者の増を図る。また， 様々な機会を捉えて団体のスタッフ募集をする。また， 協賛企業を募る等， 外部からの資金調達を図る， など， 次年度以降の当該団体の自立的な活動に向けた取組を行う。		

<p>(主催者側参加者数) 実行委員〇〇人 ボランティアスタッフ〇〇人</p> <p>★公益性(広く県民が鑑賞等できるか)も審査のポイントになります。《審査基準⑤》</p>	<p>(一般参加予定者数) 一般参加者〇〇〇人 , 観覧者〇〇〇人 (見込み)</p>
<p>(事業実施の推進体制, スケジュール等)</p> <p>★事業の実現性(事業計画や実施体制は具体的か。)も審査のポイントです。《審査基準③》</p> <p>(推進体制) 〇〇に事務局を置き, 〇〇が全体を統括する。〇〇をはじめ〇〇の協力を得ながら推進する。</p> <p>(スケジュール) 〇月 一般参加者募集・選考 〇月～〇月 ミュージカルの創作活動 〇月 ポスター・チラシ制作, 広報活動実施, チケット販売開始 〇月 鹿児島公演(〇日) 〇月～〇月 事業実施後の振り返り, 精算処理等 ……………</p>	
<p>(新型コロナウイルス感染症対策)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「舞台芸術公演における新型コロナウイルス感染予防対策ガイドライン」に基づき, 来場者へのマスク着用が必須である旨の周知を行い, マスク着用が確認できない場合は, 個別に注意等行う。 ・開場の際には施設内のドアノブや手すり等不特定多数が触れやすい場所の消毒を行う。★感染症対策が十分に講じられているかも審査のポイントです。《審査基準⑥》 	
<p>(期待される効果)</p> <p>〇〇市の小中学生が, 〇〇市に関連するテーマのもと, ミュージカルを自分たちで創作・上演する体験により, 児童・生徒の発表の場の創出と地域文化の振興を図り, 県内の文化芸術活動の更なる活性化を図るとともに, 〇〇〇〇の効果が期待される。</p>	
<p>共催者名, 後援者名, 協賛者名等とその役割</p>	<p>後援: 〇〇県(予定), 〇〇県教育委員会(予定), 〇〇市, 〇〇新聞社, 〇〇放送</p> <p>協賛者: 〇〇〇〇</p>

収支予算書

★収支計画の妥当性も審査のポイントになります。
(助成金が有効に活用されるか。)《審査基準④》

団体名	〇〇〇〇〇実行委員会
-----	------------

(収入)		(支出)			
区分	内 訳 (円)	予算額 (円)	項目	内 訳 (円)	予算額 (円)
収 入	[補助金・助成金] ※国・県除く	0	報 償 費	〇〇氏出演料 〇円×〇回: 〇円 〇〇氏出演料 〇円×〇回: 〇円 〇〇氏指導料 〇円×〇回: 〇円 ワークショップA講師料 〇円×〇回=〇円 ワークショップB講師料 〇円×〇回=〇円 ワークショップC講師料 〇円×〇回=〇円	0
	[その他の収入] 会場:〇〇ホール 前売券 〇円×〇枚 〇円 当日券 〇円×〇枚 〇円 〇〇からの寄付金 〇〇円 〇〇からの協賛金 〇〇円 広告料収入〇円×〇社= 〇円 プログラム売上収入 〇円×〇冊= 〇円	0	旅 費	交通費 講師 鹿児島-東京(航空運 〇円 出演者 鹿児島-東京間〇円×〇人×〇回=〇円 宿泊費 講師 〇円×〇泊×〇人(鹿児島泊)=〇円 出演者 〇円×〇泊×〇人(東京泊)=〇円	0
			需 用 費	印刷費 チラシA両面カラー〇円×C 〇円 チラシB両面カラー〇円×C 〇円 ポスター片面カラー〇円×C 〇円 消耗品費 コピー用紙 〇枚×〇式= 〇円 舞台道具材料費 〇円	0
			役 務 費	設営費 〇円 ポスター・チラシ 郵送料 〇円 入場券販売手数料 〇円 立て看板制作費 〇円 資材等の運搬、設置費 〇円 記録用録画費 〇円	0
			使 用 料 ・ 賃 借 料	会場使用料 公演当日会場使用料(〇会 〇円 公演当日会場使用料(〇会 〇円 ワークショップ等会場使用料 〇円×〇回=〇円 音響設備使用料 〇円 照明設備使用料 〇円 会場整理員アルバイト賃金 〇円×〇人×〇日=〇円	0
			賃 金		0
			委 託 料		0
			そ の 他		0
		小 計 (イ)	0	小 計	0
	(ロ) 自 己 負 担 金	資金調達方法等: 自己資金 〇円	0	外 経 費 助 成 対 象	
	交付を受けようとする助成金の額 (ハ)	0	総 額	0	
	総 額 (イ)+(ロ)+(ハ)	0			

★ 収入の総額と支出の総額を一致させてください。

★ 交付を受けようとする助成金の額は、助成対象経費の2分の1以内(上限額:公演等開催支援事業50万円, 映像配信支援30万円)です。